

(様式2)

平成 30 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1570105914		
法人名	株式会社 あけぼの		
事業所名	グループホームあけぼの		
所在地	新潟県新潟市江南区曙町2丁目5番19号		
自己評価作成日	平成31年2月28日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai.gokensaku.nhl.w.go.jp/15/1/idx.php?act=on_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&Ji_gyosyoCd=1570105914-00&Pr_efCd=15&Ver_si_onCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	平成31年3月20日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは、同一敷地内に小規模多機能型居宅介護事業所を併設しており、地域密着のサービスを少人数の単位で提供させて頂く事業所です。運営理念は「家庭的な雰囲気の中で、その人らしく生活を送り、幸せを感じていただけますよう、一人ひとりと向き合い寄り添うことで成果ある支援をさせていただきます」を掲げ、運営理念の実現化を図るために全スタッフで介護の基本方針を策定しました。開設から今年度で13年目を迎え、平成29年4月には1ユニットから2ユニットへ増床させていただくことができました。13年の中ではご本人・ご家族の希望から終末期介護を実施する機会もあり、ご家族・協力医療機関のご協力を仰ぎながら当ホームのスタッフも含め全員が一丸となり、一人の入居者様の最期を看取ることができました。認知症を発症された方でも、可能なかぎり“出来る事の大切さ”を理解し、ご自分のペースで生活を送って頂ける、その方の“個”を大切にしたいケアを提供できる様に努力を続けております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○事業所と地域とのつながり

住宅街から少し離れた立地条件であるが、毎月広報誌「あけぼの新聞」を発行して利用者家族に送付するとともに、町内会にも回覧してもらい地域住民への周知に努めている。また、地域のボランティア「亀田縞応援隊」から定期的な来訪を受け、利用者と一緒に交流の機会となっている。事業所が行う夏祭りや文化祭には、地域住民の来訪者も少しずつ増えてきており、地域密着型サービスの事業所として今後の発展が期待される。

○「個」を大切にしたい運営

玄関を開けると木の香りとぬくもりが感じられ、利用者が集まる食堂は太い木の梁が設えられ、昔の民家を感じさせ落ち着いた居住空間となっている。同敷地内の他の事業所とともに、利用者ニーズに合わせ職員全体で話し合っただけの理念を基に、「個」を大切にしたい運営を目指し邁進している。職員一人ひとりの持てる力を発揮できるよう、毎月行う外出行事等の企画は全職員輪番で担当し、利用者の喜ぶ様子を見て職員の自信に繋げている。

○医療面での支援体制の充実

利用者や家族の要望に沿ってかかりつけ医や協力医の受診や往診を継続するとともに、毎週木曜日に訪問看護事業所の看護師訪問により利用者の体調管理が行われている。また、ここ数年で看取り介護を経験しており、終末期における介護についても事前研修や看取り後の家族への配慮や職員のケアについて、事業所全体で共有し重度化した場合でも安心してその人らしい最期を迎えられるように支援体制が図られている。